

令和7年度当初予算 概要

令和7年2月
総務市民局

1 令和7年度 予算規模

(単位:百万円)

| | 令和7年度 当初予算案(A) | 令和6年度 当初予算(B) | 増減 (A)－(B) |
|--------------|-------------------|------------------|---------------|
| 一般会計 | 12,012 | 8,662 | 3,350 |
| 土地取得 特別会計 | 531 | 0 | 531 |
| 合計 | 12,543 | 8,662 | 3,881 |

※職員給与費を除く

2 主要施策

総務市民局は、区役所窓口サービスの向上や地域コミュニティ活動や生涯学習活動を活性化し、安全・安心で安らぐまちづくりを目指す。また変革マインドを持った職員を育成し、やりがいを持ちながら安心して働ける組織を構築する。

「稼げるまち」の実現

若者や女性をはじめとした多様な人材が、安心してフレキシブルに働き続けることができる社会への転換を推進する。

[新規] ■女性にコンフォートなまちづくり推進事業【15百万円】

[新規] ■パパ育休ファーストステップ応援奨励金【12百万円】

■ワーク・ライフ・バランス推進事業【2百万円】



「彩りあるまち」の実現

マイナンバーカードを活用した行政サービスのDXを推進する。
また区の特徴ある取り組みや環境整備を行い区の活性化を図る。

[新規] ■市民課窓口への書かない窓口導入事業【156百万円】

[拡充] ■戸籍の振り仮名記載関連事業【324百万円】

[新規] ■区活性化・整備推進事業【129百万円】



「安らぐまち」の実現

繁華街の安全・安心を推進するとともに、
地域コミュニティの活性化のため、
若者が参画できる場の提供や市民センターの利用促進を図る。

[新規] ■全世代参加型地域コミュニティ推進事業【28百万円】

[新規] ■大学生×市民センターによる地域共創プロジェクト【1百万円】

[新規] ■戦後80周年記念平和推進事業【4百万円】

■門司港地域複合公共施設整備事業関連(門司区役所、生涯学習センター)、
公共施設の維持管理、改修等【3,678百万円】

(区役所、市民センター、生涯学習センター、本庁舎、
旧古河鉱業若松ビルなど)

■繁華街防犯カメラ更新事業【32百万円】

■客引き行為等の適正化に関する条例推進事業【24百万円】

[拡充] ■防犯対策強化事業【71百万円】(2月補正)



その他の取り組み

職員のコミュニケーション強化や連帯意識の向上を図り、職場満足度を向上させる。

[新規] ■『北九州市職員 ES向上元年』事業【8百万円】

[新規] ■人事給与関連システム経費【62百万円】

■システム標準化に係る事前準備事業【101百万円】

3 主な事業

「稼げるまち」の実現

●稼げる「人」を育む

新規 ・女性にコンフォートなまちづくり推進事業 **150万円**

経済界、地域、教育・子育て分野等の関係団体や幅広い女性の意見をもとに、女性が必要とする情報を集約したコミュニティの形成、ヘルスケアの理解促進や課題解決支援など、女性にコンフォートなまちづくりを推進

新規 ・パパ育休ファーストステップ応援奨励金 **120万円**

男性の育児休業取得が難しい中小企業を対象に、企業にとって初の男性育休取得のきっかけづくりとなる奨励金制度を創設

・ワーク・ライフ・バランス推進事業 **200万円**

多様な働き方や暮らし方を選択でき、活力ある豊かな社会の実現を目指して、企業等の取組の支援や、広報・啓発などワーク・ライフ・バランスの推進を図るほか、「働きやすいまち北九州」の実現を目指し、北九州イクボス同盟の拡大や取組支援等を実施

「彩りあるまち」の実現

●彩りある「空間」をつくる

新規 ・市民課窓口への書かない窓口導入事業 **1560万円**

マイナンバーカードや免許証を読み取って申請書に印字する「申請書作成支援システム(いわゆる「書かないサービス」)」を導入し、当該システムや電子申請の操作補助を含めた市民向けの支援窓口を設置

拡充 ・戸籍の振り仮名記載関連事業 **3240万円**

戸籍法改正により戸籍に記載されることとなった氏名の振り仮名について、本人等からの氏名の振り仮名届出や、届出を受理した市区町村からの通知により、戸籍及び住民票の振り仮名を記載

●彩りある「時」をつくる

新規 ・区活性化・整備推進事業 **1290万円**

市民に最も身近な区役所が主体となって、区の特徴あるイベント開催・支援や、地域の課題に迅速・的確に対応するとともに、区役所の環境整備、地域活動の維持、防災対策など区の機能強化を図りながら、安全・安心な魅力あるまちづくりを推進

「安らぐまち」の実現

●生活基盤の「安心」を支える

・繁華街防犯カメラ更新事業 **320万円**

耐用年数を経過した市設置の防犯カメラについて、これまで専用回線でデータ送信していたものを、毎年通信費を削減できる無線通信タイプの防犯カメラに更新

・子どもと女性の「防犯力アップ」事業 **200万円**

子どもや女性を対象とした安全セミナー等を開催し、犯罪被害の防止を図る

新規 ・全世代参加型地域コミュニティ推進事業 **280万円**

2040年の社会情勢等を踏まえた新たな地域コミュニティの在り方について、有識者等から意見を聴取する「(仮称)地域コミュニティビジョン検討会議」を開催し、検討会議での意見を基に、「(仮称)北九州市地域コミュニティビジョン」を策定

- 新規** ・大学生×市民センターによる地域共創プロジェクト 1百万円
- 北九州市立大学地域創生学群と連携し、1年生約120名を市民センター15館程度で受け入れ、市民センター事業や地域の活動に参加する中で、学生が考える地域に必要な講座・事業等を、市民センターや地域住民と共同で企画・実施
- ・門司港地域複合公共施設整備事業関連 1,733百万円
- 門司港地域に点在している老朽化した公共施設を門司港駅に隣接した交通利便性の高い場所に集約し、複合化・多機能化することにより、整備費や維持管理コストを削減するとともに、市民サービスの向上や効率化、地域の活性化を促進
- ・公共施設の維持管理、改修等 1,945百万円
(区役所、市民センター、生涯学習センター、本庁舎、旧古河鉱業若松ビル等)
- 市民にとって身近な施設である区役所や市民センターなどの公共施設を安全かつ長期に維持していくため、浸水対策や外壁の補修等を実施

●暮らしの「安心」を支える

- ・若者の犯罪行為への加担防止啓発事業 1百万円
- 闇バイト等の検索を行った若者層やSNS利用者を対象としたターゲティング広告で注意喚起を実施し、若者の犯罪行為加担を未然に防止
- 拡充** ・犯罪被害者等支援事業 4百万円
- 国における犯罪被害者支援制度の見直しを受け、本市の支援制度の更なる充実を図るため、既存の総合相談センターの運営に加え、被害者見舞金支給制度を整備
- ・客引き行為等の適正化に関する条例推進事業 24百万円
- 本市のイメージを損ない、ナイトタイムエコノミー促進を大きく阻害する客引き行為等の巡視・取締り等を強化
- 新規** ・戦後80周年記念平和推進事業 4百万円
- 戦後80周年という節目の年を迎えるにあたり、戦争の記憶を風化させることなく、これからも平和の大切さや命の尊さを継承していくため、平和学習・情報発信の拠点である「平和のまちミュージアム」で記念事業を実施
- 拡充** ・防犯対策強化事業(2月補正) 71百万円
- 防犯対策強化の緊急対応として、主要駅周辺等への防犯カメラ設置や通学路への防犯灯設置等を実施

その他の取組

- 新規** ・『北九州市職員 ES向上元年』事業 8百万円
- 新ビジョンの実現や市政変革を推進するため、市職員の職場や仕事への満足度(ES)やエンゲージメント(組織への連帯感)を数値化し、より数値を高めていくことで、組織全体の活力や政策推進力の向上を促進
- 新規** ・人事給与関連システム経費 62百万円
- DX推進計画に基づくペーパーレス化など、事務の効率化及び職員の負担軽減を目的としたシステム再構築を見据え、人事給与・庶務事務システムの機能改修を実施
- 拡充** ・システム標準化に係る事前準備事業 101百万円
- 「地方公共団体情報システム標準化基本方針」で定める標準準拠システムの内、住民記録、印鑑登録、戸籍、戸籍附票を標準化システムへ移行するため事前準備を実施

【問合せ先】
総務市民局 総務課
荒田(課長)、江口(係長)
TEL 093-582-2102